

ハートレター

第 129号

2025年 7月 14日

発行:社会福祉法人 絆の会

発行責任者:土井 まゆみ

事務局所在地:

長野市若里 3-14-23

TEL 026-226-6045

FAX 026-262-1262

houjin@kizuna-nagano.or.jp

http://www.kizuna-nagano.or.jp/



社会福祉法人絆の会

検索

2Pからの内容 ・ひまわりの会主催 松井朝子氏パントマイム公演～空想の楽しさ 心を伝える喜び!～

・第 24 回全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロック予選会～Rainbow 絆見事3位入賞!～

3P ・2025 年度絆の会家族会総会 研修会

・地域とのかかわり-みらいコーポ稲葉・リアン松岡 -オレンジ若里
・新任職員事業所見学

4P ・B型事業所の取り組み・悠友ハウス・びーんず・信州そば工房きずな・あんだんて

・新任職員紹介 ・今年の絆フェスタ
・メンバーの活躍 ・インフォメーション

2025 年度の新たな取組

「絆の会 5 か年中期事業計画」は今年 5 年目を迎え、年度内に各分野（就労と地域）のあり方検討会を実施する中で整理し、改正します。

計画の中でも昨今力を入れて取り組んでいることが、「財政基盤の安定化」と「人材育成と人材確保」です。とりわけ運営基盤の安定化や次世代育成については、喫緊の課題として様々な取組みを行っています。運営については毎月行う所長会で当月の給付費を振り返り、来月の見通しを話し合うことで、安定運営を意識してきました。育成という点では、個別には面談の機会の設定や職歴の浅い新任職員に対する OJT¹の実施を、研修としては新任だけでなく、中堅職員や短時間勤務の職員等各職層や様々な働き方の職員に応じた研修を実施してきました。今年度は、次世代育成の一環として「職場環境改善委員会」を立ち上げました。「所長」と「中堅職員」でグループ分けし、それぞれのグループでキャリアパス²の「新任」と「3～5 年目」職員の項目の見直しを行います。先日、早速中堅グループの委員会を行い、私も参加しました。中堅グループでは新任の項目を担当しているのですが、メンバー構成が前職で福祉職以外を経験してきた人が半数以上いるためか、会の理念・指針をどんな形で新任職員に意識してもらおうかという話題では、なるほどと思うような意見がたくさん出ました。組織として理念をどう周知し浸透させていくか、いくつか案があがり、理念や指針は「持ち歩き 常に目にして 意識する」ことが大事という理由から、法人の理念をカード型にした『リネンカード』を作成することになりました。出来上がったカードを見た時、自分たちで考えたことを形にして実践していく大切な第一歩を踏み出した気がして、今後は楽しみにになりました。小さなことからコツコツと、今年度も一つ一つの実践を積み重ねながら皆で成長していきたいと思えます。

常務理事 荒谷麻美子

1. 「On the Job Training (オンザジョブトレーニング)」の略で、上司や先輩が新任職員等に対して、現場での実務を通じて業務の知識やノウハウを身につけさせる人材教育の手法
2. 個人が職業人生の中でどのように成長し、進んでいくのかを示す道筋

絆の会新体制スタート!

6 月 24 日、絆の会は理事 1 名、監事 1 名が交替し活気あるスタートを切りました。また、評議員は法人が間違いなく正しい方向へ進んでいるかどうか、外からの目を持って牽制する働きが託されており、当事者 1 名、家族 1 名、ボランティア 1 名、地域から 1 名、医療関係から 1 名が交替し 9 名で同日発足しています。

当事者、家族、ボランティア、職員の 4 本柱がそれぞれ活発に活動しながら、有機的につながり、協力し合ってきたことが絆の会ならではの良さだと感じておりますが、さらに新しい風が吹き込まれ、自由で活発な意見交換を通して、この法人の新たなあゆみを皆で積み重ねていきたいと思えます。

理事長 土井まゆみ

【新役員体制】(50 音順)

理事 荒谷麻美子 太田廣美 岡村美奈子 坂口和美 土井まゆみ 中村高弘(新) 増田修史 山越つむ枝

評議員 池田純 大塚志津枝(新) 岸田隆 小山せつ子(新) 清水順子(新) 中村美恵子 藤倉公代(新)

穂苅良三 吉澤透(新)

監事 草間康晴(新) 山田米一